

料金後納
郵便

株主通信 2017年3月期 第3四半期決算ご報告
(2016年4月1日~2016年12月31日)

株式会社プロネクサス 証券コード：7893
(東証一部)

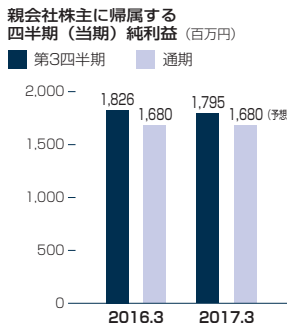
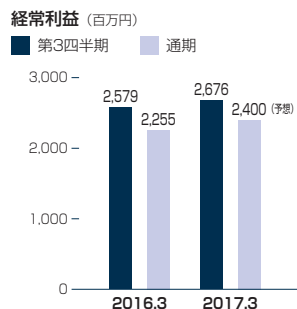
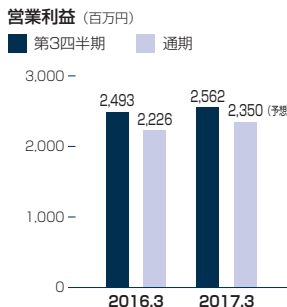
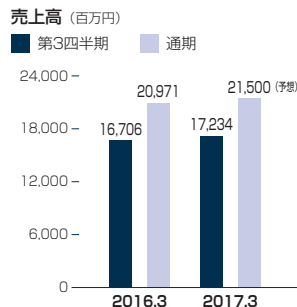
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2016年9月末時点での株主の皆様にお送りしています。

まずこちらを
開く 濡れている場合は乾かしてから
はがしてください。

当第3四半期の連結業績

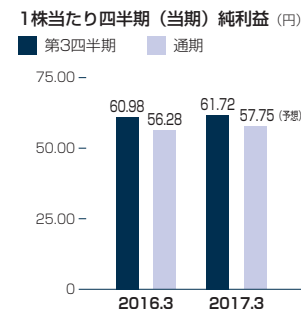
	(第3四半期実績)	(前年同期比)
売上高	17,234百万円	3.2%増
営業利益	2,562百万円	2.8%増
営業利益率	14.9%	±0pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,795百万円	1.7%減
1株当たり四半期純利益	61円72銭	74銭増



製品別売上高 (百万円)	(第3四半期実績)	(構成比)	(前年同期比)
上場会社 ディスクロージャー関連	7,571	43.9%	0.2%増
上場会社IR関連等	4,032	23.4%	2.2%増
金融商品 ディスクロージャー関連	5,244	30.4%	8.3%増
データベース関連	385	2.3%	7.0%増

資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	16,141	流動負債	3,005
固定資産	12,056	固定負債	3,254
資産合計	28,198	負債合計	6,260
		純資産合計	21,938
		負債純資産合計	28,198



株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数*と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈しております。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円

※「保有年数」は、同一の株主番号が株主名簿に継続して記載されている年数です。

会社概要 (2016年12月31日現在)

商号	株式会社プロネクサス
創業	1930年12月15日
設立	1947年5月1日
資本金	30億5,865万500円
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング
主な事業内容	ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス
従業員数	1,015名(連結) 680名(単体)

主な事業所および工場

大阪支店	札幌営業所	名古屋営業所
広島営業所	福岡営業所	戸田工場

グループ会社 (連結子会社)

株式会社アスコミュニケーションズ 日本財務翻訳株式会社
台湾普羅納克慶斯股份有限公司(プロネクサス台湾)(他、持分法適用関連会社2社)

株式インフォメーション

■株式に関する手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

2. 特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 ☎0120-232-711

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス asp@pronexus.co.jp

注記事項 ※本報告書は、2017年1月31日発表の2017年3月期第3四半期決算短信の数値、文章を基に作成しています。その後に公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

株主の皆様へ



「新中期経営計画2018」 の目標達成に向けて、 成長のための基盤を 一層強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第3四半期(4-12月の四半期連結累計期間)は、コーポレートガバ

郵便はきがき

ナンス・コードを背景とした投資家への情報提供強化の動きが一層強まり、引き続き関連製品の受注が増加したほか、J-REIT市場など金融商品ディスクロージャー分野における受注拡大が売上に寄りました。これらの結果、当第3四半期の連結売上高は、17,234百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

利益面では、受注増に対応する外注加工費や制作体制強化に伴う労務費に加え、営業体制の強化による販管費が増加しましたが、増収効果により営業利益は2,562百万円(同2.8%増)となりました。経常利益は2,676百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に固定資産譲渡に伴う特別利益を計上したことの反動減により、前年同期比30百万円減(同1.7%減)の1,795百万円となりました。

当社は、2016年4月から、「新中期経営計画2018」を全社的に推進しております。コア事業であるディスクロージャー支援サービスの基盤を固めつつ、システムサービスの強化やBPO^(※)、コンサルティングサービスの拡充を通して開示・IR周辺の実務支援領域を拡張してまいります。これに加えて一層のコスト削減の取組みを進め、「新中期経営計画2018」の目標達成を目指します。

株主の皆様には引き続き、ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(※)ビジネスプロセス・アウトソーシング

2017年2月 代表取締役社長 上野 剛史

製品別の概況

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

招集通知のカラー化が一層進展したことによる受注単価の上昇、システムサービスの拡張による増収が、ファイナンスの小型化や前期にスポットで受注した大型の開示支援の反動減をカバーし、売上増となりました。

＜上場会社IR関連＞

コーポレートガバナンス・コードの導入を背景として、英文IR(翻訳)サービスやIRサイト構築等のWebサービス、株主総会ビジュアル化サービス等の受注が増加しました。これらの増収が株主通信・広告等の減収を上回りました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

投資信託市場における運用報告書や各種販売用資料、Webサービス等の受注増加、J-REIT市場におけるIPO・ファイナンス関連製品の増収が売上に大きく寄りました。

＜データベース関連＞

既存顧客の契約更新が好調に推移するとともに新規受注も寄与いたしました。

配当方針・自己株式について

1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績・予想	年間配当金(円 銭)			配当性向 (%)	純資産配当率 (%)
	第2四半期末	期末	合計		
2016年3月期	12.00 (内3月配当)	11.00	23.00	40.9	3.3
2017年3月期(予想)	11.00	11.00	22.00	37.6	

2. 自己株式について

■2016年12月末時点の発行済株式総数は33,444千株、うち4,353千株(13%)が自己株式となっております。

■2017年1月31日付で、80万株、10億円を上限とする自己株式の取得を決定しました(2017年2月1日~6月30日)。

※上記の配当性向は、2017年3月期中で購入上限額に達したと仮定して算出したものです。